

事務事業名 雲南市桜まつり事業		所属部 産業観光部	所属課 観光振興課
総合計画的体系	政策名 (V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G 観光振興グループ	課長名 安部哲男
	施策名 (38)観光の振興	担当者名 伊藤恭将	電話番号:0854-40-1054 (内線) 2432
	目的:対 象 市外の人・市民 意 図 市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。	予算科目	会計 款 大 事 業 大 事 業 名 0 1 3 5 0 1
	基本事業名:(114)観光情報の発信		項 目 中 事 業 中 事 業 名 0 5 1 5 6 8
目的:対 象 市内外の人 意 図 観光情報を得てもらう。		観光振興総務管理事業 日本一さくらのまちづくり事業 交付金	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
合併前まで各町で実施していた桜祭りを雲南市さくら祭りとして名称のみ統合実施。 ①木次(日本さくら名所100選斐伊川堤防桜並木) ②三刀屋(三刀屋川河川敷中心、みどりの桜「御黄衣」) ③大東(丸子山公園) ④加茂(中央公園・赤川中心)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動) ①さくら祭りの企画・会議・関係機関との調整・PR・会場準備・イベント運営・警備等。 ②観光客、マスメディアの問い合わせ対応。 ③山陽方面へのプロモーション。(テレビCM、ラジオCM、番組出演、ポスター掲出)	30年度計画(30年度に計画する主な活動) ①さくら祭りの企画・会議・関係機関との調整・PR・会場準備・イベント運営・警備等。 ②観光客、マスメディアの問い合わせ対応。				
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 来場客数(斐伊川堤防桜並木)	千人	95	130	90	105
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	観光客	ア 日本の人口	千人	127,095	126,933	126,530	未定
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
雲南市を訪れてもらう。	ア 観光入り込み客数	千人	1,483	1,530	1,389	1,480	
	イ 観光消費額	百万円	4,023	4,164	3,739	4,300	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
交付金 5,000千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
	事業費	地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円	1,118	5,000	5,000	5,300
	事業費計(A)	千円	1,118	5,000	5,000	5,300
	人件費	正規職員従事人数	人	5	6	6
		延べ業務時間	時間	1,088	1,088	1,088
	人件費計(B)	千円	4,258	4,316	4,436	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,376	9,316	9,436	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
尾道松江線開通による山陽方面からの来訪者増加が期待できる。警察等からの安全管理要請が厳しくなってきた。担当部の職員が駐車場対応などをしてきたが、部の改編や職員の減少により、直営での対応が難しくなっている。商工会の人員不足により、対応難しくなっている部分がある。	以前は、三刀屋と木次で別のポスターを作っていたが、合併10周年を前に「雲南市桜まつり」として1種類のポスターを作成した。「雲南食堂」が実施されたことにより、賑わいが増してきている。雪洞のライトアップを桜の開花期間に合わせるで行っている。	木次だけが突出しているとの意見もある。逆に木次からはきちんと実施すべきとの意見もある。花火の実施により、河川敷駐車場の一部が使用できず苦情がある。また、桜の開花にメインイベントが合わないことに対する苦情がある。

事務事業名	雲南市桜まつり事業	所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																				
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																					
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																					
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																				
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																					
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	イベント内容などにより集客を増加させることは可能と考える。また、市内で消費してもらった仕組みづくりの強化について検討が必要。ただし、過剰な混雑は市民の生活の支障をきたす可能性がある																			
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																					
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	最も集客力の高いイベントを廃止すれば、市内への観光入り込み客数が減り、経済波及効果が期待できなくなる。																		
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																					
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？																					
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		時期が限定されるので、他のイベント等との連携は困難。ただし、桜まつりの集客を活用して、他の事業のPRを行うことは可能と考える。																		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		桜のまちを標榜する市としては、スムーズな誘導や安全対策上、案内看板の設置、警備体制についての削減は出来ない。																		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		イベント実施体制の再構築を行い、行政が関与すべき業務を削減できれば、人件費の削減にも繋がる可能性はある。ただし、その場合は事業費が拡大する。																		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		イベントによる集客効果を市内全域に広げていく必要がある。																		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																			
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		イベント内容については、事業費等を見直せる余地があるかもしれないが、警備・衛生管理等については、現状維持、もしくは強化しないと満足度の低下から観光客の減少につながる可能性がある。																		
3 今後の方向性【PLAN】																						
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	向上	●			維持			×	低下		×	×
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上	●																					
維持			×																			
低下		×	×																			
花見や桜まつりに訪れる観光客から地域にお金が落ちていないのではという懸念がある。今後、更なる経済効果をもたらすことのできるよう具体案を検討する必要がある。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																				